



9
Sep. 2017
No.746

夏まつりに
美しく舞う桜





②子どもたちも夏まつりを満喫③消防団による勇壮なはしご乗り
 きで開会式から大盛り上がり⑥hesoのほっこりするバンドステージ
 リーダーも大活躍⑩憧れのスーパーカーが一堂に⑪迫力の2ステージ
 きの今年の豊作を祈る麓岳白山豊年踊り⑭スタジアム内を巡行した大
 特別にネイルをおしゃれ



五感で楽しむ夏まつり

わくや夏まつり

in 浦谷スタジアム

8月14日(月)に、浦谷スタジアムにおいて、会場移転後、2
 回目の夏まつりが開催されました。雨が続く天候で開催そのもの
 が心配されましたが、大きく崩れることもなく、昨年に引き
 続き町内外から多数ご来場いただき、にぎわいを見せました。

地元を中心としたサークル・団体の皆さんによるステージパ
 フォーマンスや体験型のワークショップ・遊具、飲食ブースな
 ど、「五感で楽しむ夏まつり」のテーマどおりの会場に、来場
 者は満喫。

フィナーレの神輿宮入・わくや総盆踊り・納涼打ち上げ花火
 で最高潮を迎え、冷える夏の夜が、熱く盛り上がりました。



①スタジアムの照明越しに望む新たな伝統の打ち上げ花火
④力強く打ち鳴らす太鼓がスタジアムに響き渡る⑤祝餅ま
⑦AYAKAのワンマンステージ⑧金マン、出現⑨ジュニア
祭WAKUYOSA舞桜⑫ねぶたが今年も会場を見守る⑬雨続
人神輿と中学生神輿⑮夏まつりに響く秋の山唄⑯今日だけ



16

15

14



③



②



かつばで始まる
涌谷の夏 & じどうかん
まつり

①



④



⑤



⑧



⑥



⑦

7月22日(土)に、涌谷に夏を告げる「じどうかんまつり」と「伊達かつばの里まつり」が開催されました。八雲神社にきゅうりが供えられ、ステージや縁日などで大いにぎわいました。

- ①きゅうりが供えられたかつば様
- ②町内を練り歩く学童みこし
- ③かつば様に踊りを披露
- ④ミニ水族館を観察
- ⑤涼やかなフラダンス
- ⑥お父さんたちも奮闘した縁日
- ⑦涌一小マーチングバンドの演奏が夕刻に響き渡る
- ⑧伝統のお茶屋節踊り



9の3区夏まつり

7月30日(土)に、のびのび会館で開催。前日まで雨の予報であったものの、当日は晴れ、地域の200人が参加し、盛大に開催され、親睦を深めました。





教育行政の一助として

遠田商工会から教育委員会に寄付

7月10日(月)に、遠田商工会の渡邊新美会長が涌谷町教育委員会を訪れ、第2回遠田商工会長杯チャリティゴルフ大会の収益金の一部を教育行政の一助として寄付されました。

この寄付は、昨年に引き続き贈られたものです。

今後とも、涌谷町の行政運営にご理解をいただくとともに、多方面においてご協力いただきますよう、お願い申し上げます。



こころが揺さぶられる音楽

Project Rising Sunコンサートを開催

7月25日(火)に、涌谷公民館において、東日本大震災以降、被災地にピアノを贈りながら、音楽と笑顔を届ける活動が続いている「Project Rising Sun」によるコンサートが開催されました。

これまでの活動で、13台のピアノを東北に贈られており、涌谷公民館に昨年寄贈されたピアノは13番目のピアノです。このご縁は、東日本大震災で被災し、涌谷町に移住してきた村上典子さんが見つないでくれたもので、今回のコンサート開催も、その縁が実を結んだものとなります。

コンサートの開会に先立ち、「Project Rising Sun」の皆さんに、涌谷町からピアノの寄付に対する感謝状が贈られました。

コンサートでは、ピアノ奏者の中村天平氏のオリジナル曲の演奏のほか、バリトン歌手の吉武大地氏らによる、親子で楽しめるさまざまなジャンルの楽曲が歌われました。

「Project Rising Sun」では、贈ったピアノを介して地域の若者が音楽に親しみ、新たな輪が広がっていくことを願っていると話します。町民の皆さんにおかれましては、その思いを引き継ぎ、ピアノを大いに利用いただき、明るい地域づくりにつなげていってください。



地域の威信をかけて

行政区対抗ソフトボール大会を開催

8月6日(日)に、涌谷スタジアムにおいて行政区対抗ソフトボール大会を開催しました。

大会には、3区、5の2区、9の1区、9の3区、八雲区、上小塚区、日向区、城山区の8チームが参加。夏の日差しが降り注ぐ天気の中、各チームが一丸となり、白熱した試合を繰り広げました。

なお、優勝は城山区、準優勝は3区となりました。皆さんも、スポーツの秋に合わせて体を動かしませんか？



自分たちが作った野菜も楽しめる さくらんぼこども園で夏まつり開催

7月21日(金)に、さくらんぼこども園において、夏まつりを開催。園児だけではなく、こども園の先生も浴衣を身につけ、夏まつりを盛り上げていました。

盆踊りを全員で踊った後、水ヨーヨーすくいやくじ引きなどの縁日コーナーを楽しんだほかに、園児が地域の皆さんとともに育てたじゃがいもなどの野菜を食べれるコーナーやフィナーレの打ち上げ花火によって、一足早く本格的な夏の到来を満喫しました。



子どもたちが安全・安心に遊べるように 中央公園・八雲児童館の遊具点検

7月8日(土)に、八雲児童館と中央公園において、地域の保護者と遠田警察署の協力を得て、子どもたちが普段安全・安心に遊べる環境を保つために、年に一度の遊具の安全点検を実施しました。

また、合わせて、児童にも参加してもらい、中央公園内の清掃活動を実施。

その後、八雲児童館の広場を会場に、参加者全員でそうめんを食べ、親睦を深めました。



夏休みの自由研究に地域資源を 羊毛を使ったペーパーウェイトづくり

7月23日(日)に、箕岳山観光栗園内の黄金山牧場において、羊の毛を使った「羊毛フェルトのペーパーウェイト」づくりのワークショップが開催されました。

羊毛ワークショップを行ってきた後藤初美さんに、子ども会で何かできないかという相談から実現したものです。

羊たちとふれあう時間もあり、これまで黄金山牧場に訪れる機会がなかった子どもたちにとって、涌谷町の地域資源を体感できる夏休み最初の良い時間となりました。



宝くじの社会貢献広報事業が採択されました かっぱまつりで大太鼓をお披露目

涌谷太鼓では、平成29年度コミュニティ助成（宝くじ助成）事業を受け、大太鼓を購入しました。

コミュニティ助成事業は、宝くじの受託事業収入を財源とし、コミュニティの健全な発展と宝くじの普及効果が発揮できる事業を対象に交付されるものです。

かっぱまつりで、その大太鼓がお披露目され、新曲「桜花」を演奏し会場を盛り上げました。この大太鼓により、さらに充実した地域コミュニティの活動が期待されます。

消防署を見学しよう!

7月21日に『消防署を見学しよう!』を開催し、遠田消防署を訪問しました。

庁舎内を案内していただき、いろいろなお部屋を見学したり、一人ずつ消防服を着ながらの放水体験や消防・救命救急車両の説明を頂くなど、盛りだくさん。

また、見学中に出動要請があり救急車の出動するところも見る事ができました。

今回の見学会をとおして消防署のお仕事を知ることができ、普段、見たり、体験することができない、貴重な時間を過ごすことができました。



こちら -町長コラム- 町長室です

未来を誰に託すつもりなのか

今年の夏は梅雨明けと思えば連続降雨の新記録。これは地球温暖化によるものと言われ、今後、常態化するとも言われています。この冷夏、長雨、集中豪雨により、農作物の不作、不幸にも命を亡くしたりと、自然災害では濟まなくなっています。

また、日本は急激な人口減少社会へ進みます。どうすれば良いのか?先日、デンマークを訪問しました。3~4人の子ども連れの家が多数見られました。そのことを尋ねたら、子育ては社会全体が行う仕組みになっているため、安心して子どもを出産できるからと教えてくれました。社会構造が日本とは段違い、デンマーク国民が税負担の中で、子育て、教育費、医療、年金などが享受できる負担と給付の在り方が整えられています。現在の人口増加は、2050年には減少に転じる見通しのため、今から備えているそうです。

地方自治体は、人口減少にあえぎ、苦しい予算をやり繰りし、国の事業を先取りしながら子育て政策を行っています。しかし、いまだに子育ては家庭の負担という政治家もいるそうです。その方は未来を誰に託そうとしているのか?そんな日本の社会構造を考えながら、来年度の主要な政策を検討中です。

子育て対策が日本の将来を左右します。このまま、少子化を座視していれば日本の将来はありません。それには予算が必要です。

限られた予算の中で行うには、社会全体で子育てをするという意識改革が必要です。子どもは将来への投資です。涌谷町では、町民の方々から理解を頂き、子育ての予算をねん出しています。来年度もお願いするつもりです。本来は国は地方自治体が苦勞することのない子育て予算を制度化すべきであり、その制度は将来にツケを残す消費税は避け、「子ども保険」の議論もすべきであると考えます。50年後には8808万人まで減ると言われています。この現象に気づいた今、私たちは将来の生き残りをかけた子育て政策に取り組む時と考えております。

涌谷町長 大橋信夫

しろやま さんの 城山の金さん徒然日記

小ねぎがアイスになっちゃった!?

今年4月に、涌谷新スイーツとして「小ねぎぼうろ」・「黄金傳ショコラ」がデビューしたのは記憶に新しいと思うが、今度は、アイスクリームが誕生しようとしておる。

涌谷町地域おこし協力隊の丹治隊員の活動の一環として、すでにデビューしている2つのスイーツに、「おぼろ豆腐シェイク」を加えて、アイスクリームにしてみようという取り組みじゃ。石巻市の風月堂殿にご協力いただき、試作品1号ができあがり、元のスイーツ考案者の皆さんを対象とした試食会も開催された。

涌谷町の新たなギフトに「アイスクリーム」が加わる日も近いかもしれんわ。



写真)味だけではなく、ギフトとしての見た目・デザイン性にもこだわる

1 職員の任免及び職員数に関する状況

▶ 部門別職員数の状況（平成28年4月1日現在）

		平成27年	平成28年	増減数
一般行政部門	議 会	3人	3人	0人
	総 務	38人	45人	7人
	税 務	9人	9人	0人
	労 務	0人	0人	0人
	農 水	12人	13人	1人
	商 工	4人	4人	0人
	土 木	8人	8人	0人
	民 生	25人	28人	3人
	衛 生	11人	11人	0人
小 計	110人	121人	11人	
特別行政	教 育	49人	42人	△7人
普通会計合計		159人	163人	4人
公営企業等	病 院	101人	107人	6人
	水 道	6人	5人	△1人
	下水道	3人	3人	0人
	その他	51人	50人	△1人
	小 計	161人	165人	4人
合 計		320人	328人	8人

▶ 平成28年度採用者数および退職者数

区 分	採用者数	退職者数
一般行政職	13人	7人
医 療 職	13人	5人
労 務 職	0人	1人
合 計	26人	13人

▶ 退職の状況（平成29年3月31日）

退職事由	人 数	退職事由	人 数
定 年 退 職	6人	死 亡 退 職	—
勸 奨 退 職	—	再任用任期满了	1人
普 通 退 職	6人	懲 戒 免 職	—
		合 計	13人

2 職員給与の状況（平成28年4月1日）

▶ 一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
涌谷町	40.1歳	289,868円	326,276円	313,231円
宮城県	42.3歳	341,467円	401,885円	356,741円
国	43.6歳	331,816円	—	410,984円

▶ 技能労務職

区 分		平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
涌谷町		49.4歳	281,533円	307,101円	304,911円
	うち用務員	47.3歳	276,667円	297,729円	299,609円
	うち自動車運転手	53.6歳	291,267円	325,844円	315,517円
宮城県		52.2歳	324,449円	365,851円	348,020円
国		50.4歳	287,447円	—	329,358円

※「平均給料月額」とは、平成28年4月1日現在における職員の基本給です。

※「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものです。また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

「涌谷町における人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数や給与などの状況をお知らせします。

涌谷町の人事行政の運営等の状況を公表

7 職員の福祉および利益の保護の状況

▶ 職員の健康診断の状況

区分	受診者数	内容等
総合健康診断 (人間ドック)	83人	35歳以上の希望する職員
定期健康診断	356人	上記以外の職員
婦人科検診	乳がん 45人 子宮がん 41人	30歳以上の希望する職員 の乳・子宮がん検診
脳ドック	31人	頭・頸部検査等
計(延べ人数)	556人	

▶ 公務災害補償制度の状況

加入団体	災害件数
地方公務員災害補償基金宮城県支部	0件

▶ 職員互助会の設置および活動状況

職員の厚生制度として涌谷町職員互助会を設置し、福利厚生事業を行っています。互助会は、職員からの月会費(給料月額10/1000)で運営されています。

● 職員互助会の運営状況

会員数	会費	補助金	公費負担率
329人	11,471千円	0千円	0%

● 職員互助会の事業内容

種類	事業内容
給付事業	結婚、死亡、出産等の慶弔給付、その他被災したときや退職したときの給付
福利厚生事業	保健、保養、教養等福利を増進するために必要な助成
貸付事業	職員が資金を必要とするときの貸付

8 公平委員会(宮城県人事委員会へ委託)の業務の状況

- (1) 勤務条件に関する措置の要求の状況 0件
 (2) 不利益処分に関する不服申し立て状況の状況 0件

▶ 人事行政の運営等の状況に関する問い合わせ先

総務課 総務班 ☎43-2111



3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

▶ 職員の勤務時間(一般職の標準的なもの)

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
38時間45分	8時30分	17時15分	12時~13時

▶ 年次有給休暇の取得状況(平成28年1月1日~12月31日)

全職員に対し、1年につき20日間付与(前年に未使用日数がある場合は、最大20日を翌年へ繰越し)

職員一人当たりの平均取得日数	取得率
8日	21.5%

▶ 時間外勤務および休日勤務等の状況

勤務総時間数	職員一人当たりの月平均時間数
8,576時間	7.6時間

▶ 休暇制度の概要

区分	概要	備考
病欠休暇	公務上の傷病、結核性疾患、公務外の傷病	有給
特別休暇	公民権行使、ボランティア、公の職務執行、社会貢献活動、結婚、妊産婦の母胎等の健康保持、産前・産後、妻の出産、保育時間、忌引、夏期休暇等	有給
介護休暇	配偶者、子、父母などの介護	無給

4 職員の分限および懲戒処分の状況

- (1) 分限処分者 休職 1人
 (2) 懲戒処分者 訓告等 1人

5 職員の営利企業等従事許可

- (1) 報酬を得て事業又は事務に従事する場合 9人

6 職員の研修および勤務成績の評定の状況

▶ 職員の研修の実施状況

研修区分		受講者数	研修内容等
研修所 研修	階層別研修	41人	勤続年数、職階による研修
	各種専門研修	22人	専門知識・技術等の習得
職場内研修		68人	新規採用職員研修、CS接遇研修、人事評価研修
その他の研修		16人	町村会新規採用職員研修、自主研修
計		147人	

▶ 勤務成績の評定の実施状況

評定回数	2回	評定期	4月・10月
------	----	-----	--------



認知症になっても 住み慣れたこの町で！

9月は世界アルツハイマー月間

アルツハイマー病は一方通行で進行していってしまう脳疾患です。9月は世界アルツハイマー月間として、本人や家族の生活をよりよくすることを目的に世界各国で啓発活動が行われています。

高齢社会の今、改めてアルツハイマー病・認知症について、理解を深めてください。

▶問い合わせ先

福祉課包括支援班 ☎43-5111（内線554）

▼認知症とは？

認知症とは、脳の病気によって獲得していた複数の能力が失われ、それが長時間（おおむね6カ月以上）続き、社会活動の水準が低下する状態といわれています。



▼涌谷町の現状 高齢化率

涌谷町の人口は16728人。65歳以上の割合を示す高齢化率は年々上昇しており、現在33・2%、つまり約3人に1人が65歳以上となります。これは宮城県35市町村の中で上から13位（平成29年3月末現在）となります。



▼涌谷町と認知症

厚生労働省によると、認知症者の推計値では、65歳以上の15%が認知症とされています。また認知症の予備軍といわれる方々は65歳以上の13%となっています。これを涌谷町に当てはめると、約1500人が「認知症とその予備軍」という計算になります。

▼なぜ早期発見、

早期受診が大切？

「認知症は治らないから医療機関にかかっても仕方がない」という考えは間違いです。

認知症の場合、早期発見・早期治療で進行を遅らせたり、症状を軽くできることもあります。

また、他の疾患でも認知症の症状を示すことがあり、適切な治療で症状が劇的によくなる場合もあるため、早期の受診が大切です。

広告

涌谷町シルバー人材センターからのお知らせ

涌谷町に居住する健康で意欲のある60歳以上の方が登録しております。平成29年度もそれぞれの方の技術や体力に合わせてがんばってまいりますので、よろしく願いいたします。

【入会を希望される方について】

随時入会説明をいたしますので、事務所へお越しください。

【仕事の依頼について】

電話か事務所に直接お越しください。仕事の内容・条件・予算をお伺いし、まずは、お見積りいたします。

▶問い合わせ先

（公社）涌谷町シルバー人材センター ☎44-1710

広報わくやに広告を掲載しませんか？

「広報わくや」に掲載する広告を募集します。広告枠はこの枠と同じ縦4.2cm、横8.5cmで、1枠あたりの掲載料は5,000円になります。掲載希望の方はご連絡ください。

企画財政課 企画班 ☎43-2112